



## 農事組合法人 美郷サンファーム

グリーン・ツーリズムの拠点として地域活性化に貢献

① 平成16年度に3戸4名で法人を設立し、農業生産部門に加え、餅加工施設、米粉パン工房を導入するなど、米の加工を中心経営の多角化に取り組んできました。

② 平成23年度に、国の六次産業化法に基づく総合化事業計画の認定(県内初)を受けるとともに、直売所・農家レストラン・農家民宿の機能を兼ね備えた総合施設「米(まい)・サラダハウス」を核として通年での安定収入の確保と地域の活性化、雇用の拡大に貢献しています。

③ 「米・サラダハウス」は地域の公益活動や生産部会の話し合いの場として活用されているほか、都市農村交流の受け皿になるなど、グリーン・ツーリズムの重要な拠点として重宝されています。



所在地	仙北郡美郷町金沢西根字下四ツ谷
品目等	水稻、大豆、アスパラガス、メロンほか 農産物直売所・農家レストラン・農家民宿の総合施設運営
作付面積	37ha



## 湯沢市酒米研究会

「酒米の里・ゆざわ」における高品質な酒米生産

① 古くから酒造業が盛んな湯沢市において、昭和30年代に当時の研究会の活動により酒米生産が本格化し、41年に湯沢市酒米研究会が設立されました。県内の酒米生産の主力を担う地域として、生産振興が積極的に行われてきました。

② 同研究会では、「酒米の里・ゆざわ」を提唱し、実需者や消費者を巻き込んだイベントの開催や酒米の販路拡大のため、県内

外の酒造会社への訪問を行うなど、広く酒米の生産地であることをPRしています。

③ 酒米を安定供給していくため、関係機関・団体との緊密な連携のもと、需要動向を見据えた生産体制の確立を図っています。また、試験研究機関と連携した研修会等の開催や支部単位での稻見会の開催など、高品質な酒米生産に向けた取組を行っています。



所在地	湯沢市佐竹町
品目	水稻(酒造好適米)
作付面積	400ha

congratulations!

ふるさと秋田  
農林水産大賞

受賞者



## 産地部門

秋田ふるさと農業協同組合  
きのこ総合部会

横手市

農林水産大臣賞・大賞

## 担い手部門

## 【経営体の部】

農事組合法人 永田ホープフルファーム 鹿角市 大賞

株式会社 みそらファーム 北秋田市 農林水産大臣賞・大賞

農事組合法人 蟻ネオファーム 能代市 大賞

## 【未来を切り拓く新規就農の部】

片岡 陽 鹿角市 大賞

清水川 幹宏 大仙市 大賞

## 農山漁村活性化部門

農事組合法人 美郷サンファーム 美郷町 大賞

湯沢市酒米研究会 湯沢市 大賞



秋田県



## 产地部門



### 秋田ふるさと農業協同組合 きのこ総合部会

#### 大規模栽培施設の導入で県内随一の きのこ産地を形成

① 平成4年に冬期農業の一環として旧平鹿町で始まった菌床しいたけ栽培は、その後のJA広域合併で「JA秋田ふるさときのこ部会」が設立されたことを契機に、生産が拡大しました。24年には、しめじ、なめこ、エリンギを合わせて、きのこ総合部会へと発展しました。

② 特に菌床しいたけは、近年の大規模栽培施設等の導入により、安定周年生産に向けた拡大努力を続け、県内におけるしいたけ生産量の約6割を占めるまでになりました。また、販売額も20億円に達するなど、一大産地となっています。

③ 地区別の巡回会や目揃え会等での徹底指導による産地一丸となった高品質生産や、「約りキチ三平ブランド」による販売促進キャンペーン等に積極的に取り組むとともに、多品目のきのこを出荷できる強みを活かして、全国トップブランド産地を目指しています。



所在地	横手市雄物川今宿字前田面
品目	きのこ類
栽培規模	菌床しいたけ 237万個 原木しいたけ 4.6万本 しめじ類 16万個
構成戸数	119戸

## 担い手部門

### 経営体の部



### 農事組合法人 永田ホープフルファーム 企業と連携して冷凍枝豆を商品化

① 地区農家数の減少と高齢化の進行に危機感を持ち、組織的営農と複合作目の導入を目指し、平成19年3月に集落営農組織を設立しました。その後も組織力強化に努め、21年3月に農事組合法人となりました。



② 平成23年からは枝豆を野菜部門の核として面積拡大を進め、28年には直売所併設の出荷調製施設を設置し、直接販売を始めました。また、冬期野菜の栽培を行っているほか、地域の法人と連携して、福祉施設・学校給食への食材提供にも取り組んでいます。

③ 企業と連携して、CAS冷凍による冷凍枝豆の商品化に向けた検討を進め、平成28年から「日本一おいしい」と言ってもらいたい秋田県十和田八幡平の枝豆」として販売を開始しました。県産オリジナル品種(あきた香り五葉、あきたほのか)を使用しており、好評を博しています。

所在地	鹿角市八幡平字永田上田表
品目	水稻、枝豆、野菜類
作付面積	35ha
構成戸数	18戸

## 担い手部門

### 経営体の部



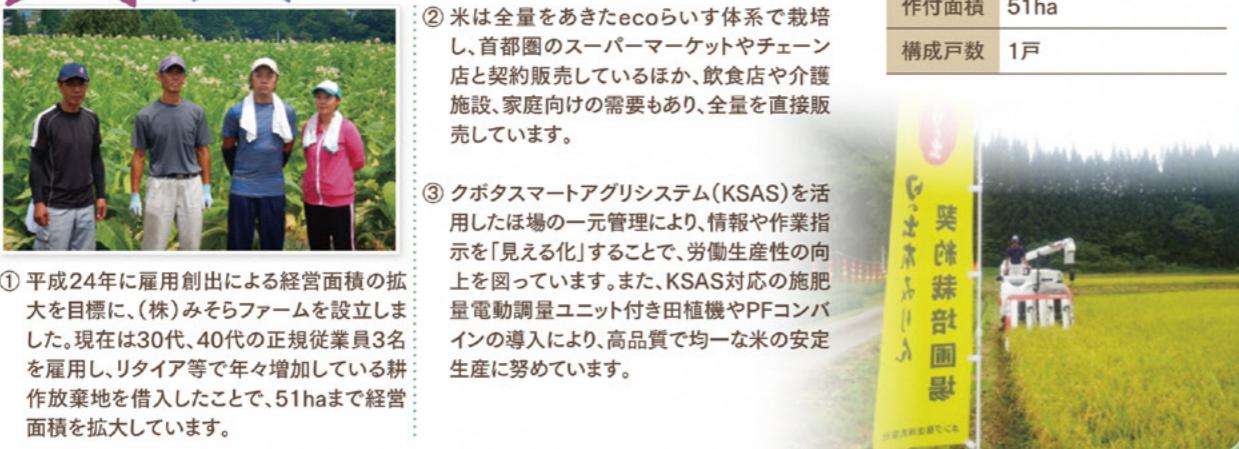
### 株式会社 みそらファーム

#### 地域の農地の受け皿として 雇用を創出

① 平成24年に雇用創出による経営面積の拡大を目指し、(株)みそらファームを設立しました。現在は30代、40代の正規従業員3名を雇用し、リタイア等で年々増加している耕作放棄地を借入したこと、51haまで経営面積を拡大しています。

② 米は全量をあきたecoらいす体系で栽培し、首都圏のスーパーマーケットやチェーン店と契約販売しているほか、飲食店や介護施設、家庭向けの需要もあり、全量を直接販売しています。

③ クボタスマートアグリシステム(KSAS)を活用したほ場の一元管理により、情報や作業指示を「見える化」することで、労働生産性の向上を図っています。また、KSAS対応の施肥量電動調整ユニット付き田植機やPFコンバインの導入により、高品質で均一な米の安定生産に努めています。



所在地	北秋田市五味堀字五味堀
品目	水稻、葉たばこ、大豆、そば、餅加工
作付面積	51ha
構成戸数	1戸

## 担い手部門

### 経営体の部



### 農事組合法人 轟ネオファーム

#### ネギ生産者の中心として販売額1億円達成を牽引

① 平成22年にはほ場整備を契機として法人を設立し、水稻・大豆に加え、27年4月からは「JAあきた白神園芸メガ団地」の構成法人として、地域ブランドである「白神ねぎ」の生産に取り組んでいます。



② 同JA管内のネギ生産者では、平成27年、28年の2年連続で販売額1位となるなど、メガ団地の目標販売額1億円の達成に大きく貢献しました。大規模機械化体系の実践や加工・業務用ネギの契約出荷に取り組んでいるほか、消費者ニーズに応じた新たな規格にも柔軟に対応しています。

③ 若手農業者の雇用・育成にも力を入れており、大学生や高校生の農業実習を積極的に受け入れ、就農人口の増加に努めています。

所在地	能代市字轟
品目	水稻、ネギ、大豆ほか
作付面積	43ha
構成戸数	2戸



## 担い手部門

### 新規就農部



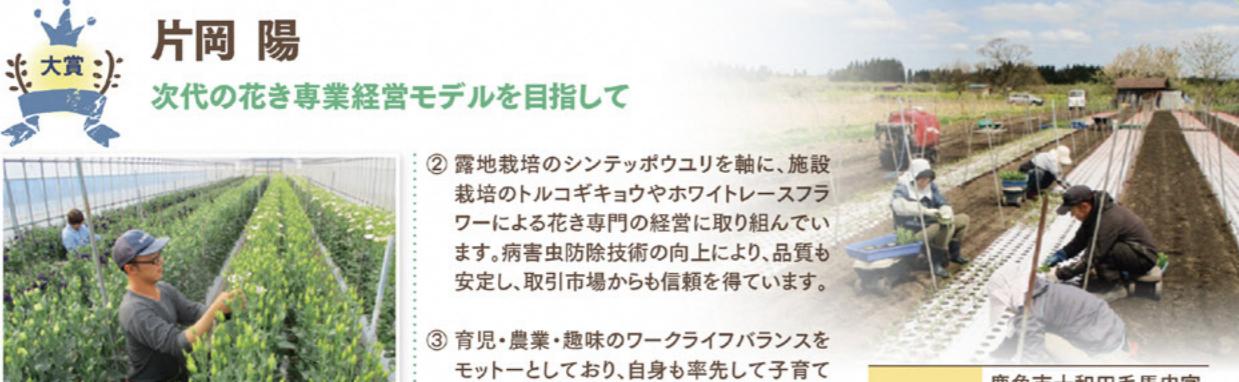
### 片岡 陽

#### 次代の花き専業経営モデルを目指して

① 勤務していた果樹園を平成24年に退職し、鹿角市内の花き生産者のもとで研修を受け、25年に花き専業農家として就農しました。

② 露地栽培のシンテッポウユリを軸に、施設栽培のトルコギキョウやホワイトレースフラワーによる花き専門の経営に取り組んでいます。病害虫防除技術の向上により、品質も安定し、取引市場からも信頼を得ています。

③ 育児・農業・趣味のワークライフバランスをモットーとしており、自身も率先して子育を行っています。また、小さい子供をもつ母親を積極的に雇用し、子供の行事等がある場合は休暇を取得しやすくするなど、働きやすい環境づくりに努めています。



所在地	鹿角市十和田毛馬内字南陣場
品目	シンテッポウユリ、トルコギキョウ、ホワイトレースフラワー
作付面積	38a

## 担い手部門

### 新規就農部



### 清水川 幹宏

#### リンドウの促成栽培により早出し出荷を実現

① 大仙市農業振興情報センターでの2年間の研修を経て平成26年度に就農し、リンドウ及び輪ギク栽培を開始しました。26年度にパイプハウス2棟、27、29年度にはそれぞれ1棟ずつ増棟し、計画的に規模拡大を進めています。また、収穫調整、栽培管理の機械等の導入により、作業の効率化を図っています。



② 平成28年度からは輪ギク・スプレーギクの冬期作型に取り組み、長期出荷体制を構築しているほか、リンドウのハウス促成栽培に取り組むことで、早出しを可能にし、安定価格での取引を実現しています。

③ JA秋田おばこ花き部会りんどう専門部会の役員を務めるなど、若手花き生産者との交流や全県の生産者との情報交換を積極的に行い、技術向上に努めています。

所在地	大仙市太田町川口字中村
品目	リンドウ、輪ギク、スプレーギク
作付面積	38a

